

信州産学官連携 インターンシップ参加レポート



地域の魅力に触れ
自分に何ができるか
を考えさせられた
インターンシップ

長野大学
環境ツーリズム学部
環境ツーリズム学科1年生

加藤光さん

参加企業 麻績村役場

- 期 間 3日間
- 企業業種 自治体
- 体験職種 地域おこし協力隊

インターンシップ実習の目的

地域資源の活用方法を学びたいと思ったから。また、地域おこし協力隊の仕組みについて詳しく知り、活動していく中での体験談などお話を直接聞いてみたいと思ったから。

インターンシップスケジュールとその内容

1日目：村内案内・草木染め施設見学及び、草木染め体験

村内案内：聖高原 神明宮 信濃観月苑（草木染め展の見学）草木染め体験：マリーゴールドで綿の糸を染色、苧麻でハンカチを染色しました。

2日目：畑見学・農作業体験

リンゴ・ブドウ畑、田んぼの見学。コメの仕分け、大根の種まき等を行いました。

3日目：機織り体験・座談会・藍染め体験

1日目に染めた糸でコースターを作りました。藍で手提げぶくろの染色を行いました。



インターンシップを終えて

地域おこし協力隊について理解が深まった。染物は難しいと思っていたが、体験してみると手軽で簡単にできることがわかり、魅力を知ることができた。農業体験をしたことで今までより農業に興味を持つことができた。この自治体を訪れるのは初めてだったが、様々な人と関わったり文化に触れることで自分自身もこの自治体のことを発信していきたいと思った。細かいスケジュールのもとで実習を行ったが、先のことを見越して行動したり、わからないことがあったら積極的に質問するなど自ら動けたと思う。自分が協力隊だったら何ができるか自らの視点で考えることができた。また、空いた時間に率先して収穫の手伝いができた。インターンシップを通してコミュニケーション力をもっと付けていきたいという今後の課題も見えた。

学生さんに聞いてみました！

問・インターンシップに参加して得られたことは？

学習意欲が高まり、職業選択の参考になりました。
またコミュニケーションが大切だということを実感したので、今後コミュニケーション力を高められるような行動をしていきたいです。

問・インターンシップに参加した企業・団体の印象をどのように感じましたか？

目標をもって活動する姿がとても魅力的でした。職場の魅力をたくさん感じることができました。

